



昨春  
大好評  
につき...

## 華道家「假屋崎省吾」 お化け屋敷プロデュースに再挑戦!!

# 假屋崎省吾のお化け屋敷 「呪いの壺」開催!

2014年3月  
株式会社よみうりランド

2013年春、人生初のお化け屋敷プロデュースに挑戦した華道家「假屋崎省吾」。“華”の世界で培われた感性を“お化け”の世界でもいかに発揮し、来場者を恐怖の世界へと引きずり込みました。

そして2014年春、今年も「假屋崎省吾」がお化け屋敷プロデュースに挑戦します。舞台は“無黒屋”という古びた旅館。物語は無黒屋にあるいわく付きの“壺”に假屋崎省吾が触れ、手を滑らせ床に落としたことで不気味な黒い霧に覆われるところから始まる。

来場者には假屋崎省吾を助けるために、ひとつ足りない壺のかけらを探していただきます。かけらを壺へ収めた時…この事態は全て解決する。…はずです。

假屋崎省吾が創り出す、恐怖の世界…どうぞご期待ください。

### 假屋崎省吾のお化け屋敷 無黒屋「呪いの壺」概要

- 期 間 3月21日(金祝)～6月22日(日)
- 場 所 お化け屋敷「無黒屋」
- 料 金 300円(ワンデーバス・ひよこバス・夜桜バス利用可)
- 所要時間 5～10分



貸出画像①「お化け屋敷 呪いの壺イメージ画像」



貸出画像②「昨年の様子」

## ストーリー

### “假屋崎省吾を助けてください”

【假屋崎省吾】は、忙しい日々の休養にと老舗旅館「無黒屋」へ足を運んだ。

有名人が泊まりに来たと、主の「大番頭」は大喜び。  
遂には、自分が趣味で集めた骨董品のコレクションに  
「花をいけてほしい」と假屋崎へ頼み込んだ。

大番頭の願いを叶えるべく、假屋崎はコレクションの中から花をいける器を品定めしていた。  
ふと、ある「壺」に目がとまる。

「これなんかいい具合ですね！」そう言って假屋崎は「壺」を手にする。



すると、さっきまでニコニコしていた大番頭が、血相を変えて叫んだ。

「それはいけません！」

間髪入れず、持ち上げた「壺」から不気味な声が聞こえ出した。

「ぶおおおお…」

「わあ！」

驚いた假屋崎は手を滑らせ壺を落とし割ってしまった。



假屋崎は目を疑った。

割れた「壺」からモクモクと黒い煙が上がり始めみるみるうちに妖怪のような形になる…

「ぎゃ—————！」

黒い煙に包まれ、假屋崎はどこかへ連れ去られてしまった…

なんということでしょう…

大番頭は必死に考えた…

壺が割れてしまったから、良からぬ者が出てきた。

壺を元に戻せば…假屋崎が戻ってくる、かも！



大急ぎで、粉々に散ったカケラを集め組み立てる。

しかし。

### “カケラが、ひとつ足りない……”

さて、厄介なことになってしまった。

假屋崎はさらわれ、そして肝心な「壺のカケラ」も見つからないまま…

最後の望みは…そこのあなた。

無黒屋へ潜入し「壺のカケラ」を探し出してください。

カケラを壺へ収めた時…

假屋崎さんも、大番頭も、無黒屋も助かる！…はず。



●お問合せ先● (株)よみうりランド 遊園地事業部企画・宣伝課 奥谷・後藤

☎ 206-8725 東京都稲城市矢野口4015-1 ☎ 044-966-1111 (お客様お問合せ用) 044-966-1135 (直通) FAX 044-955-6303  
[HP] <http://www.yomiuriland.com> [携帯HP] <http://landdog.jp>  
[mail] [y-okutani@yomiuriland.co.jp](mailto:y-okutani@yomiuriland.co.jp) [a-gotou@yomiuriland.co.jp](mailto:a-gotou@yomiuriland.co.jp)